

目黒稻門会会報



(題字:眞仁田 勉 初代会長)

第81号 2018年12月

発行人:後藤 克彦 編集長:猪名川 一雄 事務局長:金井 豊男
事務局:〒153-0053 目黒区五本木2-22-6 Tel 03-3713-1684

2019年新年会のご案内

2019年新年会を、1月20日(日)ホテル雅叙園東京にて下記の通り開催いたします。

平成最後の新年会です。そして新たな元号の元年を迎えるにあたり、更なる飛躍を誓う方、時代の節目に思いを馳せる方、1年を無事に過ごしたことへ感謝される方、各々の新年があろうかと思いますが、同じ早稲田で学んだご縁を通じて集いましょう。

2019年、目黒稻門会は設立20周年を迎えます。おなじみの方も、ひさしぶりの方も大いに飲み、語り、皆で「都の西北」を高らかに歌いましょう。新年を祝うとともに、皆様の更なるご活躍を祈り、楽しいひとときを過ごしたいと思います。

今回、海老沢勝二様(昭和32年政経卒)により、「早稲田と人材教育」と題した講演を予定しております。豊富な経験に裏付けされた海老沢様ならではのお話、どんな講演を伺えるか楽しみです。どうぞご期待ください。

講演の後には、懇親会にてゆったりと会員相互に交流をお楽しみ頂けます。

皆様には新年ご多用のこととは存じますが、お誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 日 時: 2019年1月20日(日)16時開会
(受付開始 15時30分)
- 会 場: ホテル雅叙園東京3階「シリウスの間」
東京都目黒区下目黒1-8-1
電話 03-3491-4111
- 講 演: 16時~17時
講師 海老沢 勝二氏
演題 早稲田と人材教育
- 懇親会: 17時~19時
- 会 費: 会員10,000円、ご家族5,000円
当日会場受付にてお支払い下さい。
- 同封の返信用はがきを、12月28日(金)まで
にご返送下さい。

(笠谷 記)

講師プロフィール



海老沢 勝二氏

1934年	茨城県生まれ
1957年	早稲田大学第一政治経済学部卒業 日本放送協会(NHK)入局
1982年	NHK 政治部長
1988年	NHK 報道局長
1991年	NHK エンタープライズ社長
1993年	NHK 専務理事
1997年	NHK 会長
2005年	NHK 会長退任 現在の主な役職: 日本相撲協会評議員会議長、 早稲田大学評議員、 日本音楽財団会長など

NHK会長時代には「放送は、異文化を理解するための架け橋である」という信念のもと、BS放送に取り組みました。ラジオからテレビ、インターネットと、メディアの変遷に伴いコンテンツは、益々、幅が広がり多様化し続けています。デジタル時代に必要とされる21世紀型能力を有する人材の育成が課題であり、裾野を拡大し全体のレベルを高める教育を行っていく必要があります。

講師の海老沢氏は、これまでの歩みを振り返り人材教育の大切さや異文化を理解し尊重する大切さを中心に興味深いお話が伺えるものと思います。

(後藤 記)

ウォーキング部会

まだまだ天候が不順といいますか台風が例年になく多い年になりましたが、皆様体調は大丈夫でしたか。これからは少しあい季候になるのではと期待しています。これからも健康に注意して楽しく歩きましょう。特に初参加者、女性は歓迎です。

実施報告

- 9月例会 羽村取水堰と多摩川を歩く
日時 9月18日(火)参加15名
- 10月例会 武藏野三十三観音めぐり 第6回
日時 10月16日(火)参加11名



今後の予定(小雨決行)

- 11月例会 津久井宝が峰と遺跡
日時 11月20日(火)午後1時
集合場所 JR横浜線橋本駅改札外
- 12月例会 芝大神宮から泉岳寺
日時 12月18日(火)午後1時
集合場所 JR山手線浜松町駅改札外
- 1月例会 深川七福神巡り
日時 1月4日(金)午後2時
集合場所 東京メトロ日比谷線門前仲町駅改札外富岡八幡宮側
- 2月例会 羽村取水堰と多摩川を歩く 第2回
日時 2月19日(火)午後1時
集合場所 JR青梅線羽村駅改札外

参加される方は下記まで連絡下さい。

牧野携帯 090-9649-6868
ウォーキング部会長 牧野武夫

さん月会

2017年8月開催例会より、「やるき茶屋」都立大学店から自由が丘店に変更して1年が経ちました。大いに飲み語る会を多くの皆さんのが参加を得て盛り上げて頂きたくお待ちしています。第三月曜日18時からです。

さん月会部会長 村山 弘

囲碁部会

第18回稻穂会囲碁大会が平成30年9月16日(日)に新宿天元で開催され、目黒から6名が参加した。Eクラスで菊地崇之氏が優勝した。また3月から6ヶ月かけた春季リーグ戦では大久保健治氏が最多勝優勝者となった。

今年10月の定例囲碁部会に吉田寅三氏が初参加された。同氏は囲碁には全くの初心者ですが、3年を目途に初段を目指してもらいたいと希望しています。部会としても囲碁をやりたいがどうしてよいか迷っている会員の背中を押したいと思っています。

囲碁の対局中は親の死に目にあえないと言われる程で、頭の体操どころか認知症にも効果があると思います。ゴルフやテニスなどの運動ができなくなる前に取り組んでおきたい趣味の一つです。吉田さんと同じスタートを共有する会員をお待ちしています。

囲碁部会長 保井 正

俳句部会

第110回 萩句会報告

日時 2018年10月8日(月)14時~17時
(順不同)

川井素山	腰たたかれ終る指圧やそぞろ寒
保井寅正	洗硯や万葉かなけそうぶみ
青木英林	鈴生りに土の香りや落花生
佐久間喬	世は無常流るるのみや秋の水
後藤克彦	高層の窓に泳ぐや鰯雲
丸山醉宵子	倒木が鳥居を塞ぐ野分あと
菊地崇之	枯尾花偉人を騙る私小説
吉田啓悟	風に乗り夕陽に溶ける赤とんぼ
佐久間たか子	掃苔や溜息ひとつ雲いつぺん
山本草風	新走り一気に臓腑駆け抜ける
渡辺鯨波	洗硯や納戸に古りし水滸伝
永井正孝	硯洗ふ墨の匂ひに我浸る
原 晶如	大楠の匂ひてこほろぎ月夜かな
青葉ひかる	散る椿愛しさに堪え忍ぶ恋

今月の一句

新走り一気に臓腑駆け抜ける

<中川主宰の評>

新走りとは新米で仕込んだ今年の新酒である。待ち望んだあら走りをぐいと飲むさまを臓腑駆け抜けると小気味良く詠んでいる。

俳句部会長 佐久間 喬

ゴルフ部会

10月24日(水)、第43回ゴルフ部会を千葉県の香木原カントリークラブにおいて開催しました。前2回のコンペが雨にたたられ、今回も当日の天気が心配でしたが、幸いにも曇りのち晴れの好天気に恵まれ気持ちよくプレーができました。

毎回参加者が少なくなっている中、(ピーク時27-28名、最近は13-14名、今回は13名が参加)今回は、川崎秀一さん、山内 宏さんが初参加して会を盛り上げてくれました。

優勝は41、39グロス80の好スコアで狩野さん、準優勝は川崎さん、3位は服部さんでした。表彰式での優勝者のコメント「一緒に回ったメンバーとキャディーさんのおかげで最近出したことのない好スコアで回ることができて大変うれしいです。次回はもっと参加者を増やして会を盛り上げましょう」次回は来春4月24日(水)ゴルフ部会創立20周年記念大会となります。優勝者のコメントにもあるように多数の参加を期待しております。



ゴルフ部会長 大杉邦雄

麻雀部会

- 10月15日(月)武藏小山サンで12名出席。優勝は小倉氏、準優勝は大久保氏、三位は大内氏でした。小倉氏は麻雀の神様、最多優勝回数を更新中。
- 12月17日(月)サンにて例会開催されます。奮ってご参加下さい。例会後武藏小山「井門」で忘年会あり、こちらも皆様御出席下さい。

麻雀部会長 鵜野洋治

ボランティア部会

2011年7月に創設された当部会も満7年を経過し、目黒区サクラ基金、「NPO 法人世界の子供にワクチンを日本委員会」に対する寄付および災害支援金として寄付額も累計100万円を超えました。

全員参加で無理せず長続きする趣旨で、会員が7

名以上参加する会合で一人100円を目途に募金することを基本としております。今後とも本活動へのご支援をよろしくお願ひいたします。

ボランティア部会長 小杉 哲

カラオケ部会

9月のカラオケ部会は定例の会場コートダジュール目黒西口店で14日(金)の16時から開かれ、9人が参加しました。10月は12日(金)に開催されました。参加人数は10人でした。前回の会報でも紹介しましたが、12月の誕生日が来れば96歳になる阿部さんは、脚を怪我された時を除き毎回出席されておられます。来られる度に新しい歌を唄われますし、女性とのデュエット曲も複数披露され、何時も皆で感心しております。阿部さんに次ぐ91歳の長老外岡さんもほぼ毎回参加されておられ、唄われるのは懐メロが中心です。



カラオケ部会長 奥村忠男

美術・歴史鑑賞部会

9月18日(火)「モネそれからの100年展」

於：横浜美術館

モネの作品及び彼から影響を受けたと思われる邦人作家の作品展です。

参加人員：13名

10月10日(水)「仙崖礼賛」 於：出光美術館

ユーモアあふれる「禅画」で知られる禅僧・仙崖(1750-1837)の作品展です。

作品のほとんどが、還暦を過ぎた以降のもので、博多・聖福寺の虚白院へ隠居した後の25年間に制作されました。手がけた画題も禅のテーマ以外に、庶民風俗・風景・動植物など多岐にわたります。「ご隠居」として悠々自適な生活を謳歌した第二の人生。その中で生み出された「無法」の書画でありました。

参加人員：3名

美術・歴史鑑賞部会長 永井正孝

食べ歩き部会

新そば会に初参加 市川正美(家族会員)

10月4日(木)、小雨降る中、老舗・行列のできる人気店が建ち並び新しいお店も進出している麻布十番商店街に位置する老舗の中の老舗(創業230年)である「更科堀井」で新そば会が開かれました。

美味しいことで有名なことや目黒稻門会の新そば会で何度か参加されていらっしゃる方が多いみたいですが私は初めてでいつも目黒稻門会の各部会で楽しんでいる私の主人とともに参加させて頂きました。

もちろん、皆さん日頃の目黒稻門会の活動の楽しさを話しながら新そば会は進んで行きました。それに加え早稲田愛が話の端々に垣間見ることができ羨ましく感じました。

今回のメニューは前菜三点盛りを皮切りに松茸そばやそば寿司、そばがき、芝エビと三つ葉のかき揚げともりそばと白い更科そばで締めくくりというそばづくしを皆さんと堪能させていただきました。

おそばは食べ放題ということでおなかがいっぱいといいながらおいしいことから皆様おかわりをしておりました。その際のそばつゆは辛口と甘口のつゆがあり、各々味を楽しみながら食されたことと思います。この私もご多分に漏れずおかわりし、帰りは主人とともに笑顔で、またこのような会に参加したいねと話しながら帰宅しました。皆様ありがとうございました。



9月28日(金) 参加者18名



10月4日(木) 参加者15名

早稲田スポーツ観戦部会

当初は東大戦の観戦を予定していましたが、他のイベントと日程が重なるため、急遽、平成30年9月8日(土)六大学野球秋季リーグ戦早法一回戦を会員7名で応援観戦しました。

初回にエースの小島投手が2点本塁打を打たれ、5回にも2失点して降板しました。打線は法政の1年生投手・三浦に3安打、8三振、1得点と抑えられ、完敗しました。



平成30年10月27日(土)六大学野球秋季リーグ戦早慶一回戦を15名の会員と応援観戦しました。

早稲田は優勝の望みをかけた大切な試合でしたが六回先発の小島投手が慶應嶋田(2年)の適時打などで2点を先取され7回にも2本の安打を許しリードを3点に広げられました。我が早稲田は9回表檜村(3年)岸本(4年)黒岩(4年)の連打で1点を返すも反撃はここまでで1-3で敗れ優勝のチャンスはなくなりました。

試合後の渋谷での反省会は早稲田の奮起を願い奮発して20年陳釀・紹興酒を酌み交わしました。その甲斐があったのか翌日の2回戦6-5、月曜日の3回戦5-4と接戦をものにし、平成最後の早慶戦を勝ち越してリーグ2位となりました。



早稲田スポーツ観戦部会長 犬野俊夫

会員の広場

還暦で早稲田大学を卒業！

小宮山寿美子（平成30年 人間科学）



平成27年4月、57歳にして早稲田大学に入学した。この年、まさかの女子大生となった私を入れ、我が家には大学生が3人となった。志望動機は、①長男の志望大学に入りたいという必死に勉強する姿を見て、私も何かしないと、

という想い②平成19年に開設した会社経営にも影響するような、3年ごとの介護改正における報酬の減算、それに対応するにはトップの私が社会保障をも含めた総合的な勉強をしなくてはいけないと想い、この2点が大きかった。それに加え、25年間、長男、次男とも育休を各8か月ずつ取った以外常勤で働いてきた医療と福祉現場で出会う者との何とも言葉に表しにくい考え方の違い、常識的な相違も見てきた。人間学、そのような学問にも興味があった。ネットで探し、「これだ」と思った大学が、早稲田大学eスクールであった。締め切り日が過ぎていたため1年間時期を待った。人間科学部「健康福祉科学科」、これなら今の仕事にぴったりだという想いで願書を書いた。初年度は、興味のある科目が多く、10科目を選択した。1日2科目やれば大丈夫だろうという想いもあった。しかし、不得意なデータリテラシー。エクセルは苦手であったからそこから大変な思いもした。日曜日は朝6時半から夜遅くまで見直しにかかったが、おかげで高評価点をもらうことができた。

また、2週間ごとにかかる海外からの電話、英語のリスニングも大変だった。英語に関しては、次男がバイク事故のため救急病院で傷の縫合をしている間に駐車場で受けたこともあった。次男は自分で電話てきて、「足はパックリ切れているけど大丈夫」と言っている、意識もはっきりしている、チーターからの電話の時間は、多分処置中だろうと計算し、その通りとなった。次男が縫合中、スマホで「息子がバイク事故を起こし、今病院である。」という英語をノートに記し、約束の時間に備えた。次男からは、「人が縫合中に英語をやっていた。」と今でも笑いながら言われる。ネットで受ける授業、苦労もしたがとても楽しかった。孤独になることもなかった。課題も多く、画面上でのディスカッションや講師からの名前入りでのコメントをもらえる授業もあり、通学時と同じ感覚で受講できた。試験は、レ

ポート方式や、画面にタイマーが動く時間制限のある科目もあった。緊張もしたが、それでもやはり楽しかった。幹事のちょっとしたお手伝いならできるかもと言う話をしていたつもりが、しっかり幹事名に入っていた。結果的には、そのことで授業以外に大学に行く回数もあり、様々な職業を持つ者との交流も生まれ寂しさを感じることはなかった。

しかし、身体はかなり疲れた。8時からの仕事、終わって帰宅は20時過ぎ、そこから食事の用意、食事、終わるとすぐにパソコンに向かった。毎日寝るのは1時半から2時過ぎとなった。4~5時間の睡眠が當時となった。仕事場でのパソコン操作以外に、平日は5時間、休日は12時間以上パソコンに向かうこともあり、重度の肩こりを患った。健康運動指導士の資格もあるくせに、適度な運動も入れず無我夢中で取り組んだ。自己管理不良による重度な肩こりとなった以外は充実し過ごした3年間であった。

他科である「情報科学科」や「環境科学科」の授業も選択できたため、「教育」「インターネット」についても学習を深めることができた。

ゼミは、竹中晃二教授の「応用健康科学」を選択、卒業論文は「地域高齢者における運動継続を促す要因分析」と題し、219名の目黒区高齢者にアンケート調査を実施。区の介護予防受託事業に通っていた運動経験者と一般高齢者の運動の促進要因、パリア要因を分析した内容である。今、実施している介護予防事業（マシン筋トレ）の重要性が結果として出たのは、仕事をしていく上での自信に繋がった。これから、この結果を地域に還元していきたい。

日本で初めてとなるかもしれない生体肝臓移植のチームにも属し、海外へ研修に行く機会も得た病院時代。全く未知な福祉に関わろうと思ったのは、足腰が弱ってきてても前向きな両親、80代後半になっても、桜の頃には毎年飛行機で上京してくる姿、口紅を少し濃く付け、洒落たレストランに連れていくと「恥ずかしい」と言いながらもお洒落を喜んでくれた。「お洒落に外に出かけることこそ介護予防」と思い病院を退職した。今、支援している「運動トレ」「口腔トレ」「脳トレ」は、その方にとっての目標ではない。その先にもっと楽しいことをできるためのあくまでも手段である。楽しい音楽を聴きに行く、美味しいものを食べに行く、旅行をする、そのためにはどう心身を鍛えていくかを支援させていただいているのである。これからも、トレーニングの先ににある「喜び」を感じていただける支援をしていく。この2月、還暦を迎える、春には次男と一緒にそれぞれの大学を卒業した。早稲田大学というブランドを背負い、これから様々な先輩方に接し、より一層地域の皆様を元気にする役目を遂行していきたい。

早稲田が好き

古矢美美子（家族会員）

あれは中学3年の秋でした。美術の先生に引率され私達数人の生徒は上野の美術館に行きました。帰途、先生は奥さんの実家（高田馬場）に立ち寄った後、近くの大学を案内してくれました。構内へ一歩踏み入れた時の気持ちを今でもどう表現していいか判りません。何かに打たれたようにさえ感じました。後に藤沢市に合併される田舎まちの少女を恐怖させるようでもあり暖かく迎えるように見える大隈講堂でした。大きな銀杏木の下で下重暁子を彷彿させる女子学生が数人の男子学生に檄をとばしていた光景もはっきりと憶えています。

4人兄弟の長子である私に大学は諦めるよう親から言い渡されたのは10歳の時。見納めのような気持ちで早稲田の杜を後にしました。

越境して入った高校は女子系ながら（高女時代の先輩には、フクちゃんの作者で画家の横山隆一や俳優佐田啓二の奥さんになった人もいます）当時はハマの進学校であり、周囲の生徒のようにと進学を恐る恐る打診したもの言下に却下されてしまいました。例え許されたとしても地元の公立ならともかく東京の私立にとはとても言い出せなかっただけです。

かくして紺碧の空の下「都の西北」を元学友が歌っているであろう頃、私は銀行の一隅でサツカン（紙幣の勘定）をしていました。今のように機械化されておらずゴメイサンにならなければ女子と雖も帰宅できず残業は当たり前日々。いつしか自分の見た夢も忘れていました。ただ早稲田OBの行員は優しく、私を妹のように扱ってくれた先輩のご主人も優しさの権化のような理系のワセダマンでした。

東大より先に早稲田の名を知った（覚えた）という娘は長じて私の夢を叶えてくれました。

尾崎士郎「人生劇場」のお袖を演じる娘を見に行った大学祭には、平和な時代の人生の最も幸せであろう時を満喫する若者たちで溢れていて、改めて早稲田のキャンパスライフが輝いて見えました。

何故か森繁久彌もガウン姿で出席した卒業式。夕方まで二人、余韻に浸りながらも帰途に着こうとしていた時“ねえ一緒に写真撮らない”と肩を叩かれました。振りむくとそこには男子学生の驚いた顔が・・・あの時の学生さん御免なさい。私がおかげ頭（ボブのつもり）だったばかりに。でも私、袴は履いていませんでしたよ。

娘の卒業後も何度か神宮球場へは足を運びました。中でも鮮明に憶えているのは斎藤佑樹が早大生としての最後の試合で東海大を抑え、チームを初の大学日本一に導いた日の事です。最後の打者をゴロで封



（娘の卒業式、大隈講堂前で）

じた瞬間、マウンド上の彼に向ってグラウンドの各ポジションから突進する選手達。彼の雄姿が3度宙に舞うのを見ながら泣いてしまいました。

それから8年。目黒稻門会の家族会員としてお仲間に入れて頂いた最初のイベントこそが、その神宮球場での春の早慶戦です。会の皆様とスクランムを組み一緒に「都の西北」を歌った時、三番“集まり散じて”的りで私の中の何かが溶けて流れ、完結していくのを覚えました。

東京に移った10年前から3年毎に大隈講堂前の「Uni. Shop & Café 125」のテラスで写真を撮っています。近々4度目の写真を撮りに行く予定ですが、あの屋根を突き破りそうな木の側のテーブルで飲む今年の早稲田ブレンドは、どんな味がするでしょう。

ところで私達は現在、目黒区内のコートでテニスをしています。実は娘とのご縁で山内さんもお仲間になって頂き、目黒稻門会の家族会員に加えて頂いた次第で山内さんには本当に感謝しております。万年初心者の私ですが皆様とテニスができましたならどんなに嬉しい事でしょう。早稲田のテニス同好会「アドヴァンテージ」にいた末弟（昭和45年頃法部卒）も天国で喜んでくれるに違いありません。

家族会員として迎え入れて下さった皆様、有難うございます。娘共々どうぞよろしくお願ひ致します。



＜編集部注＞筆者の古矢美美子さんは大内久美子会員（昭和61年商）のご母堂です。

目黒わが町自慢

下目黒 村山 弘(昭和44年 法)

自宅前の狭い道路の西側2軒先(約30m)に幅1間に満たない湾曲した連絡道路があります。狭くても学童通行路の重要な道路ですが、これは、昔の目黒競馬場(明治40年~昭和8年)の馬場の周回コースの内側のへりでした。また、東側3軒先(約36m)のバス通り沿いの公園には、当時の桜の木が毎年花を咲かせてくれます。残念ながら、周囲の宅地化により、昭和7年の第1回日本ダービーの翌年に東京競馬場(府中市)に引き継がれました。



下目黒は江戸時代の下目黒村に由来し、農村でありながら、目黒不動尊、大鳥神社の門前町として賑わったところです。目黒不動尊(瀧泉寺)は天台宗3代目座主の慈覚大師円仁が大同3年(808年)に創建し、江戸時代に徳川3代将軍・家光の庇護の下で賑わいましたが、戦災で殆どが消失し、戦後再建されました。毎月28日には縁日が開かれます。大鳥神社は大同元年(806年)に創建された目黒区で最も古い神社です。酉の市は都内で最も古く江戸時代から行われています。目黒駅近くの行人坂の中ほどに古刹の大円寺がありますが、明和9年(1772年)に死者14,700人と江戸三大大火のうち2番目の被害の大きかった明和の大火の火元になったことで知られています。また、行人坂が急坂のため大八車の通行に難儀したことから、北側に権之助坂が併設されました。他にも、五百羅漢寺、大聖院、蟠龍寺、海福寺、成就寺があります。

下目黒地区は目黒区の東南部に位置し、東側・南側は品川区に接し、北側は目黒通り、西側は「六畠川」を挟んで目黒本町に接しています。南側は都立「林試の森公園」が広がっており、目黒区民、品川区民の他多くの方が集います。私が毎日のラジオ体操に出かけている場所でもあります。

この町内に住む会員は5名です。

目黒の銭湯巡り

光明泉 石川智子(平成7年 文)

中目黒駅から徒歩3分の好立地。

光明泉は、中目黒に親子三代で営む、いわゆる街の銭湯です。2014年3月にリニューアルオープンして今に至ります。

私と光明泉との出会いは、ある時、中目黒で飲みに行く途中でふと「一風呂浴びてからのビールのほうが美味しいのでは」と立ち寄ったこと。数年来のファンです。

ここのお玉はなんといっても、東京都心では珍しい露天風呂。もちろん外から見えないように壁に囲まれていますし、男女週替わりでの利用ですが、3階テラスの露天風呂で風に吹かれるのは良いものです。

室内の炭酸泉、人工ラジウム泉は、筋肉痛や神経痛に効能があるとかで、熱すぎずゆっくり温まります。

数ある目黒区内の銭湯の中でも、おそらくもっとも年齢層が低いのではないでしょうか。

ヘアサロンや雑貨店などが並ぶファッション発信地、そしてEXILEの街でもある中目黒には、実は夢追い人が多く歩く街もあります。

ダンスレッスンの帰りに一風呂浴びて帰る、といった数人のグループも。実際、バントワーリング練習帰りの友人に出くわしたことありました。もちろん家族連れやシニアの方もいます。

銭湯にくるような人たちは、年齢・属性問わず最低限のマナーと協調性を備えていると見えて、礼儀正しく譲り合ったり、挨拶をかわしたりしています。好きです、銭湯にくる人たち。

ご訪問の際は、オレンジ色に光る看板を目印に探してみてください。オレンジ色は、お客様のみなさまの心と体を癒すシンボルカラーのことです。



会員ギャラリー

「豪徳寺のもみじ」

山内 宏（昭和56年 教育）



豪徳寺は、開運招福や商売繁盛をもたらす縁起のいい置物として、古くから日本人に親しまれている招き猫が沢山。片手を挙げて福を招く猫の姿がユニークで愛らしいと、外国人からの人気も高まっています。そんな招き猫発祥の地の豪徳寺。今の季節、もみじがとても綺麗です。自宅（蛇崩）から散策して40分程度の距離です。晩秋・初冬の頃、豪徳寺まで健康を兼ねての紅葉狩り、ウォーキングもいかがでしょうか。

新入会員



廣瀬 剛（昭和63年 社科）
(世田谷区下馬在住)

目黒区とは区境となる道路一本隔てた世田谷区下馬在住ですが、吉田前会長、後藤会長をはじめ諸先輩方から近隣のよしみでお誘い頂き、この度入会させて頂くことになりました。夫婦ともに祐天寺にある都立目黒高校卒業生であり、また二人の娘は五本木小学校卒と、目黒区とは少なからずご縁のある人生を歩んでまいりました。皆様と母校を肴に交流出来ることを楽しみにしております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



横山 仁一（平成4年 政経）
(目黒区碑文谷在住)

手塚仁雄氏の本庄高等学院の後輩で舞台演出家・洗足学園音楽大学講師の横山仁一です。2011年に目黒に新居を構え、この度、実家でお世話になっておりました越谷稻門会よりの移籍となります。どうぞよろしくお願いします。

新家族会員（敬称略）：服部弘子

女子会ランチ

【第4回ご報告】

女性企画ランチ第4弾は、平成30年8月18日（土）に 汐留・インターナショナルホテル「ジリオン」にて開催しました。会員・家族合わせて5名が集い、ご家族のことから東京オリンピック、動物愛護等までの話題について語り合い楽しく過ごしました。

幹事の市瀬一江さんとともに準備。会員の奥様が手配してくださったお店は期待以上に素晴らしい、話も弾み、笑いの絶えない和やかなランチ会でした。

（石川 記）



江戸ミニエッセー 千両箱の重さ

時代劇のドラマで千両箱が登場します。箱を開けると小判がジャラジャラと詰まっていますが、あれは嘘です。あんな状態では、本当に千両あるかの確認ができません。「切り餅」という言葉があります。小判25枚を紙に包んで、両替商が封印したものです。千両箱は切り餅が40個入る大きさだったのです。これなら千両あることの確認は容易です。

この千両箱はどれくらい重かったのでしょうか。実は時代によって異なるというのが正しい答えで、何度かの小判の改鑄によって金の含有量が減らされ、軽くなっています。

これは享保年間の数値で、江戸も後期になりますが、小判千枚の重さは11キロあったそうです。箱の重さが4キロで、合わせて15キロです。15キロはどのくらいの重さだろうとスポーツジムで15キロのダンベルを持ってみました。持ち上げることはできましたが、持ていられるのは1分間が限度でした。そんな重さです。千両箱を運ぶのは大人二人がかりの仕事だったことでしょう。

時代劇で、盗賊が千両箱を肩にかついで、屋根の上を走って逃げるというシーンがありますが、あれは無理だろうと思います。

（猪名川 記）